

2014年5月15日

マスミューチュアル生命 静岡銀行を通じ、『悠々時間アドバンス(米ドル建/豪ドル建)』を販売開始



(米ドル建/豪ドル建)

積立利率金利連動型年金(米ドル建) 年金額確定特約付
積立利率金利連動型年金(豪ドル建)

マスミューチュアル生命保険株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:井本 満、以下マスミューチュアル生命)は、株式会社静岡銀行(本店:静岡県静岡市、取締役頭取:中西 勝則)を通じ、2014年5月16日より『悠々時間アドバンス(米ドル建/豪ドル建)』(正式名称:積立利率金利連動型年金(米ドル建)年金額確定特約付/積立利率金利連動型年金(豪ドル建))の販売を開始します。

当商品はまとまったご資金を海外の金利でふやしながら受取れる、外貨建・定額の個人年金保険です。通貨は2種類、米ドル、豪ドルからご選択いただけます。

マスミューチュアル生命は事業の柱の1つである金融機関での保険販売において、これからもお客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

商品の特徴

1. まとまったご資金を海外の好金利を活かした運用でふやします。

- 米国または豪州の金利水準を反映した積立利率で運用しますので、日本に比べ、高い金利が享受できます。

※市場金利情勢によっては、日本の金利より低くなる場合があります。

2. 「ご指定の口座」で「決まった時期」に受取れます。年金は指定通貨だけでなく、円でも受取れます。

※米ドル建:年金額が6,000米ドル未満となる場合は、米ドルでのお受取りはできません。

※豪ドル建:年金額が6,000豪ドル未満となる場合は、豪ドルでのお受取りはできません。

※為替相場の変動により、円での年金受取額は変動します。

3. 円で受取る場合の為替レートを設定することができます。

- 年金受取時の為替レートが、あらかじめ設定した為替ターゲットレートと同一または円安の時だけ「円で受取り」、設定レートより円高の場合には、年金のお支払いをせず、ご契約通貨で据え置くことができます。

- 為替ターゲットレートは50円から200円まで、1円単位で設定できます。

- 為替ターゲットレートの見直しや、お好きなタイミングで据置年金のお引き出しもできます。

※新為替ターゲット特約の付加が必要となります。

「悠々時間アドバンス(米ドル建/豪ドル建)」

下記は一部通貨によって適用が異なります。ご選択通貨に応じてご確認ください。

年金種類と取扱い範囲				
年金種類	据置期間	年金受取期間	契約年齢 (被保険者の満年齢)	年金受取 開始年齢
確定年金	1年	10・20年	0～89歳	1～90歳
	5年		0～85歳	5～90歳
	10年	10年	0～80歳	10～90歳

※市場金利情勢等によっては、ご選択いただけない据置期間、年金受取期間がある場合があります。

契約の取扱い					
一時払保険料/年金額	一時払保険料・年金額のお取扱いは下記の①②を満たす範囲内となります。				
① 一時払保険料	お払込み 通貨	米ドル*1	豪ドル	円*2	
	最低	50,000米ドル以上 (100米ドル単位)	50,000豪ドル以上 (100豪ドル単位)	500万円以上 (1万円単位)	
	最高	ご契約年齢が70歳以上の場合 5億円*3・4以下			
	② 年金額	最低	米ドル建は1,000米ドル(米ドルでお受取りになる場合は6,000米ドル) 豪ドル建は1,000豪ドル(豪ドルでお受取りになる場合は6,000豪ドル)		
最高		3,000万円*3・4			
保険料払込方法	一時払のみ				
付加できる特約	米ドル建*5	・保険料円入金特約 ・円支払特約 ・年金円支払特約 ・新為替ターゲット特約 ・指定代理請求特約			
	豪ドル建	・保険料円入金特約 ・保険料外貨入金特約 ・円支払特約Ⅱ ・年金円支払特約Ⅱ ・新為替ターゲット特約 ・指定代理請求特約			
契約初期費用 (一時払保険料に対する割合)	一時払保険料に対して、下表の割合を乗じた金額を契約初期費用として控除します。				
	据置期間	年金受取期間			
		10年		20年	
		米ドル建	豪ドル建	米ドル建	豪ドル建
	1年	4.5%	5.5%	5.5%	6.0%
5年	5.0%	6.0%	6.0%	6.0%	
10年	5.5%	6.0%	-	-	
年金受取時の費用	年金管理費として毎年の年金受取時に、年金額の1%を積立金から控除します。				
年金分割受取回数 (円でお受取りになる場合)	年2回・4回・6回・12回払 (分割1回あたりの受取額は、年2・4・6回払は500米ドル以上(豪ドル建の場合は500豪ドル以上)/ 年12回払は250米ドル以上(豪ドル建の場合は250豪ドル以上)) ※米ドル(または豪ドル)でお受取りになる場合は、年1回払のみとなります。				
契約者貸付制度	お取扱いはありません。				
配当金について	配当金はありません。				
クーリング・オフ制度	この保険は、クーリング・オフ制度(ご契約のお申込みの撤回等)の対象となります。				
その他のお取扱い	据置期間および年金受取期間の延長・短縮、基本保険金額(豪ドル建の場合は基本給付金額)の増額のお取扱いはありません。				

*1 豪ドル建をご選択いただき、米ドルでお払込みいただく場合は、保険料外貨入金特約付加が必要となります。また、お払込みいただく際の為替レートは次ページの「お客さまにご負担いただく費用について」をご覧ください。

*2 円でお払込みいただく場合は、保険料円入金特約付加が必要となります。また、お払込みいただく際の為替レートは次ページの「お客さまにご負担いただく費用について」をご覧ください。

*3 円換算にあたっては、契約日が属する年度の当社が定める通算為替レートを用います。

*4 同一被保険者で当社の他の一時払定額年金保険契約がある場合は、その年金額と本商品の円換算年金額を通算して3,000万円(かつ契約年齢が70歳以上の場合一時払保険料で5億円)を超えることはできません。

*5 この商品には年金額確定特約が付加されます。

<この保険のご検討にあたってご確認いただきたい事項>

下記は一部通貨によって適用が異なります。ご選択いただいた通貨に応じてご確認ください。
なお、詳細は「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」・「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

■市場リスク・為替リスクについて

この保険は積立金を一般勘定で管理し、当社所定の方法により計算された積立利率で運用しており、将来の年金額がご契約時点において米ドル(または豪ドル)で確定する年金保険です。据置期間中の解約払戻金、年金受取期間中の年金の一括受取額等に、市場金利の変動に応じた市場価格調整が適用されることから、その受取額等が一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。また、この保険は為替相場の変動により、年金等の受取時円換算額が、一時払保険料や年金等のご契約時円換算額を下回り、損失が生じるおそれがあります。

■お客さまにご負担いただく費用について

この保険にかかる費用は、契約初期費用、保険期間中の費用の合計額です。また、円貨と外国通貨を交換される場合等で、外国通貨のお取扱いに必要なとされる費用があります。

【契約初期費用(ご契約の締結等に必要な費用)】

契約初期費用として、据置期間および年金受取期間に応じ、一時払保険料から控除します。

*米ドル建:一時払保険料の4.5%~6.0%

*豪ドル建:一時払保険料の5.5%~6.0%

【保険期間中の費用】

年金受取時の費用として、毎年の年金受取時に年金額の1%の年金管理費を積立金から控除します。なお、積立金額の計算等に用いる積立利率は、基準金利をもとに積立利率を設定する際に、ご契約の維持に必要な費用と死亡保障に必要な費用を差し引いています。

【外国通貨のお取扱いに必要な費用について】

「保険料円入金特約」または「保険料外貨入金特約」の付加により保険料を円貨または米ドルでお払込みいただく場合、および「円支払特約Ⅱ」「年金円支払特約Ⅱ」の付加により年金等を円貨でお受取りになる場合の為替レートとTTM(対顧客電信仲値)*との差額は、為替手数料として通貨交換時にご負担いただきます。

保険料円入金特約の為替レート	TTM + 50銭
保険料外貨入金特約の為替レート	(豪ドルのTTM+ 25銭) ÷ (米ドルのTTM- 25銭)
円支払特約Ⅱ/年金円支払特約Ⅱの為替レート	TTM - 50銭

* TTM(対顧客電信仲値)は、当社が指標として指定する金融機関が公示する換算基準日における値となります。

※上記の為替レートは2014年3月現在のものであり、将来変更されることがあります。

※保険料を円貨や米ドル(または豪ドル)以外の外貨でご用意される際や保険料を米ドル(または豪ドル)でお払込みになる際、また、年金等を米ドル(または豪ドル)でお受取りになる際やその米ドル(または豪ドル)を円貨に交換してお引出しする際に、金融機関所定の手数料等が必要となる場合があります。

■市場リスク・為替リスク以外で、次の場合には、お受取りになる金額が一時払保険料を下回ることがあります

- ご契約時にお払込みいただいた一時払保険料のうち、一部は契約初期費用にあてられることにより、解約払戻金は一時払保険料を下回ることがあります。
- 据置期間が短いご契約の場合、年金原資が一時払保険料を下回ることがあります。
- 年金の一括受取をした場合、年金の一括受取額とすでにお受取りいただいた総受取年金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。

マスミューチュアル生命について

MassMutual Life Insurance Company

「マスミューチュアル生命」は、米国総合金融グループ「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」の一員です。

格付けについて

当社はスタンダード&プアーズ社(S&P)より保険財務力格付けにおいて「AA-」の評価を受けています。

AA-

保険財務力格付け
スタンダード&プアーズ社

※上記の格付けは2014年5月14日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。また、格付けは格付会社の意見であり、保険金支払などについて格付会社が保証を行うものではありません。

マスミューチュアル生命の URL: www.massmutual.co.jp

マスミューチュアル・フィナンシャル・グループについて

マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニー(米国マスミューチュアル)は、1851年創業の大手生命保険相互会社であり、会員及び利益配当付保険契約者のために運営されています。同社はその長い歴史にわたって健全な財務体質と好調な業績を維持しており、配当保証はしていませんが、1860年代以降、適格利益配当付保険契約者に対し毎年配当を実施してきました。米国マスミューチュアルでは、終身生命保険をベースとしつつ生命保険、就業不能(所得補償)保険、長期介護保険、退職/401(k)プランニングサービス、年金保険などお客さまの金融ニーズに合わせた商品を提供しています。さらに、拡大する同社の強力な金融専門家のネットワークにより、お客さまが財産を長期的に管理される上での確な決断を下されるよう助力しています。

「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」は、マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーならびにその関係会社及び販売代理店を指すマーケティング・ネームです。米国マスミューチュアルはマサチューセッツ州スプリングフィールドに本拠を有しており、主要関係会社には、バブソン・キャピタル・マネジメント・LLC、その子会社であるコーナーストーン・リアルエステート・アドバイザーズ・LLC、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド、ザ・ファースト・マーカンタイル・トラスト・カンパニー、マスミューチュアル・インターナショナル・LLC、MML・インベスターズ・サービス・LLC、メンバーズ FINRA & SIPC、オープンハイマー・ファンド・インク、ザ・マスミューチュアル・トラスト・カンパニー・FSB が含まれます。

マスミューチュアル・フィナンシャル・グループの URL: www.massmutual.com

マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの格付け

AA+

保険財務力格付け
スタンダード&プアーズ社

※上記の格付けは2014年5月14日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。